



沼中だより

年末号

2025年12月24日発行

逗子市立沼間中学校

校長 熊谷 啓明

学校教育目標：「個」・「心」・「力」

今年も残すところ、あとわずかとなりました。朝夕の冷え込みが厳しくなり、校内でも冬の訪れを感じる季節となりました。保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

<3年生総合的な学習の時間>

さて、12月17日（水）、本校3年生を対象に、「政治的教養を育む授業実践・政治家にインタビューをしよう」を実施しました。本校ではこれまでも、社会科公民の学習を通して、民主政治の仕組みや政党の役割について学んできましたが、本授業は、政治を「知識」として学ぶだけでなく、自分たちの生活や将来と深く結びついたものとして捉えることをねらいとして行ったものです。

当日は、国会で議席を有する各政党から8名の政治家の方々にご協力をいただき、体育館を会場に授業を行いました。授業に先立ち、生徒たちは、講師の方々にあらかじめお答えいただいた「政治とは何か」という問いへの文章を読み、それを手がかりに、質問や伝えたいことを一人ひとりが考え、準備をして当日に臨みました。その一部を以下に紹介します。

- ・「政治家になった理由やきっかけは何ですか。」
- ・「政治家として、やりがいを感じるのはどのようなときですか。」
- ・「この世から政治がなくなったら、社会はどうなってしまうと思いますか。」
- ・「私たちが納めた税金は、実際にどのように使われているのですか。」
- ・「中学生が政治に関わることはできますか。」
- ・「政治家として、これまでで一番後悔している判断は何ですか。」
- ・「『いじめ問題』に対して、政治はどのように関わることができますか。」
- ・「ご自身の決定によって政策などが変わり、社会に影響を与えていると感じることはありますか。」
- ・「現在の日本の経済について、どのように考えていますか。」
- ・「政治家として必要な心構えには、どのようなものがありますか。」
- ・「若年層の投票率を上げるためには、どのような取組が必要だと思いますか。」
- ・「日本の三権分立は、現在も十分に機能していると思いますか。」
- ・「いわゆる『裏金問題』は、なぜ起こったと考えますか。」

これらの質問からは、政治を遠い世界の出来事としてではなく、自分自身の生活や将来と結び付けて、真剣に考えようとする生徒の姿が感じられ、とてもうれしく思いました。

当日は、少人数のグループでの説明や、自由なインタビュー形式での対話が行われ、生徒たちは緊張しながらも、堂々と、そして積極的に講師の方々に質問を投げかけていました。日本が抱える課題や社会の在り方について踏み込んだ質問をする生徒もあり、それに対して政治家の方々が、一つ一つの質問に真剣に向き合い、丁寧に答えてくださる姿が大変印象的でした。教科書だけでは得られない、「生きた政治」に

触れる、充実した時間となりました。

授業後、講師の方々からは、次のような感想が寄せられました。

- ・「中学生と政治について話す機会はなかなかなく、とても有意義な時間でした。」
- ・「私自身にとっても、今後も向き合い続けなければならない難しい問いをいただき、ありがたく感じました。」
- ・「健全な民主主義社会を維持するためには、日頃から政治へのアンテナを張ることが大切だと、改めて感じました。」
- ・「政治について、フランクに話のできる機会が身近にあることの大切さを感じました。」

※いずれも感想の一部を抜粋したものです。

また、生徒からも、次のような感想が寄せられました。

- ・「政治について、自分から考えてみようと思いました。」
- ・「多くの政治家の方々の話を聞くことができ、それぞれの考え方を知ることができて、とても有意義な時間でした。」
- ・「教科書だけでは知ることのできない、実際に話を聞くからこそその思いや考えは、とても貴重だと思いました。」
- ・「18 歳になったら選挙に行きたいと思いましたし、それまでの三年間も、政治に積極的に関わっていききたいです。」
- ・「一つの質問に対して、政治家の方々によって考え方が異なることが、特に印象に残りました。」
- ・「『まず疑う』『疑問をもつ』ことの大切さを意識しながら、自分で調べることの重要性を改めて実感しました。」
- ・「私たちが意見を言い、考え、それを政治家が受け止め、試行錯誤を重ねていくことで、社会はより良くなっていくのだと感じました。」

※いずれも感想の一部を抜粋したものです。

このように、政治を自分自身の生活や将来と結び付けて捉えようとする、前向きな感想が数多く寄せられました。

本授業の実施にあたっては、政治的中立性に十分配慮し、講師の方々とも事前に趣旨や進行について共通理解を図った上で行いました。ご多忙の中、無償でご協力くださった講師の皆様には、改めて心より感謝申し上げます。

これまでも折に触れて伝えてきたことですが、沼間中学校の生徒の皆さんには、今回の学びを通して、政治に関心をもち、将来有権者となったときには、ぜひ選挙に足を運び、自分の意思で一票を投じてほしいと願っています。それは、社会をより良くするために、自分にできる大切な一歩です。

<充実した冬休みをお過ごしください>

さて、まもなく冬休みを迎えます。生徒の皆さん、そして保護者の皆様にとっても、年末年始は家族で過ごしながら、心と体を整える大切な時間になることと思います。

1・2年生の皆さんには、日頃の学校生活を振り返りつつ、心と体をしっかりと休め、新しい年に向けて力を蓄えてほしいと思います。

また、受験期を迎えている3年生の皆さんにとっては、不安や緊張を感じる日々が続いているかもしれ

ませんが、これまで積み重ねてきた努力は、必ず皆さんの力になっています。体調管理に気を付けながら、自分を信じて一日一日を大切に過ごしてください。学校全体で、皆さんを応援しています。

保護者の皆様におかれましては、本年も本校の教育活動を温かく支えていただき、誠にありがとうございました。生徒の皆さんをはじめ、関係するすべての皆様が、よい年末年始を迎えられることを願っております。



<地域の学びの場「まなびの輪」のご紹介>

本校元教員で、現在神奈川県教育委員会に所属する佐々木 優氏が、逗子市内の会場をお借りして、学校・保護者・地域がともに学び合うことを目的とした勉強会「まなびの輪」を、月に一度開催されています。この会は、講義形式ではなく、毎回ひとつのテーマをもとに参加者同士で語り合う、和やかな雰囲気での学びの場です。立場を越えて意見を交わしながら、互いに学び合う時間となっています。

【次回のご案内】

- ・日 時：1月24日（土）10:30～12:00
- ・会 場：逗子市立沼間中学校 学習センター（図書室となり）
- ・テーマ：「相乗効果と相殺とは？」
- ・持ち物：筆記用具・上履き
- ・参加申込：不要（どなたでも参加できます）

学校と保護者、保護者同士、地域の皆さんが対話を通してつながりを深めていくことを大切にしている会です。どなたでも自由に参加できる、開かれた学びの場となっています。

なお、私（校長）も参加させていただいております。

ご関心のある方は、どうぞお気軽にご参加ください。

※本会は学校主催の行事ではありません。